

議 長 日程第1「認定第1号令和5年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について（一般会計決算審査特別委員会報告）」を議題といたします。

本件については、一般会計決算審査特別委員会の審査報告を求めます。一般会計決算審査特別委員会委員長 古谷星工人君。

一般会計決算審査

特別委員会委員長 それでは報告いたします。令和6年9月9日、松田町議会議長 平野由里子殿。一般会計決算審査特別委員会委員長 古谷星工人。

一般会計決算審査特別委員会報告書。本委員会は、9月9日に委員全員出席のもと、役場4階大会議室で委員会を開催し、令和6年第3回議会定例会において付託された認定第1号令和5年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、慎重に審査いたしましたので、次のとおり報告します。

記。1、審査の結果。採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

2、審査の内容。歳入については一括、歳出については各款を単位とし、適切な執行がなされたかを中心に審査を行いました。

なお、次のことについて留意されたい。

(1) ふるさと応援寄附金返礼品の経費が高額なものについては縮減に努め、適切な額となるよう取り組まれない。

(2) 西平畑公園給水ポンプなどの更新については、計画的に実施するとともに、不測の事態に対応できるよう、各施設においても危機管理体制に万全を期されたい。

(3) AIオンデマンドバス、スポーツツーリズム推進事業、ジビエ処理・加工施設の運営など、大規模事業に関しては適宜進捗状況を報告されたい。

以上です。

議 長 一般会計決算審査特別委員会委員長の報告が終わりました。議員全員による特別委員会のため、質疑を省略したいと思います。御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。質疑を省略して討論に入ります。

12番 寺嶋 それでは、討論ということで、まず最初に反対討論ということで行わせていただきます。

12番 寺嶋正。令和5年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、反対の立場から討論を行います。

歳入決算額は、前年度対比3.1%増の59億2,011万円、歳出決算額は前年度対比2.7%増の54億1,754万円で、歳入歳出差引5億256万円の剰余金が生じ、繰越明許費の松田中学校整備事業ほか7事業に係る翌年度への繰り越すべき財源7,066万円を除いた実質収支額は4億3,190万円となりました。実質収支残高が多くなっており、適切な予算措置と事業執行に努められたい。

歳入では、自主財源の主たる町税は15億6,334万円となり、依存財源の地方交付税は13億5,728万円、国庫支出金は8億2,373万円、地方債2億2,000万円となりました。

歳出では、人件費、扶助費、公債費を含めた義務的経費は23億2,478万円となりました。令和5年度末の地方債現在高は53億7,437万円となり、結果として町税の不納欠損額は659万円、収入未済額は5,098万円もあり、収納向上対策が求められています。普通建設事業では、松田中学校校舎改修工事、松田小学校太陽光発電設備整備工事、町道19号線町屋踏切改良工事など実施しました。今後の新松田駅周辺整備事業では、再開発によるビル建設や北口駅前広場整備事業などの大型事業が控えており、扶助費や公債費の増加等で厳しい財政運営が予測され、町民サービス低下を招かないような町政運営を行うことです。18歳までの小児医療費助成や空き家の利活用のための改修や解体の補助事業などは評価しますが、事業の未執行や不用額が多く見受けられるので、十分精査すること。新松田駅南口駅前広場整備事業が滞っており、引き続き尽力すること。AIオンデマンドバス実証実験では、運行エリアを拡大し、利便性の向上を図り、利用者を増やして持続可能な事業にすること。町消防団員は定員数に対して大幅に下回っており、町民の生命と財産を守る立場から、団員を増やすことなどを申し上げて決算の反対討論とします。よろしくお願ひします。

議 長 それでは、賛成の討論の方いらっしゃいますか。

1 番 北 村 1 番 北村和士。議長の許可を頂きましたので、討論させていただきたいと思いをします。

令和5年度松田町一般会計決算について、賛成の立場から討論を行わせていただきます。この決算は、子供から高齢者までが安心して暮らせる町を目標とするチルドレンファーストの理念に基づく2年目の決算として、松田町の未来に向けた大きな一歩を踏み出したものとして、私たちに希望と責任を感じさせるものです。特に新松田駅北口地区の市街地再開発事業は、町民にとって生活の利便性を大きく向上させるだけでなく、地域経済の活性化という重要な目的を果たすものです。この再開発プロジェクトは、松田町のさらなる成長を後押しするために必要不可欠です。町民が長年にわたって求めてきた変革が、いよいよ現実のものになろうとしています。また、新モビリティサービス推進事業として、AI技術を活用したオンデマンドバス、のるーと足柄の試験運行がスタートしました。松田町地域公共交通計画の基本理念でもある「誰もが笑顔で行きたいところへ行けるまち松田」が現実になれば、松田町の成長の下支えをすることができ、そのための第一歩として意義ある施策です。

さらに、松田町の豊かな自然を活用したスポーツイベントや合宿誘致等で地域経済の発展に大きく寄与するスポーツツーリズムの推進、農作物の鳥獣被害を解消しつつ、特産品の創出となり得るジビエ処理加工施設の整備など、町の新たな魅力になるものと考えます。

防災対策の強化についても、昨今の自然災害を受けて着実に進んでいることを確認しました。松田中学校校舎大規模改修事業や松田小学校太陽光発電設備整備工事なども含めて、防災インフラの整備により町民の命を守るための備えが強化されました。こうした施策は、災害がいつ発生するか分からない現代において、未来の安全と安心を築く基盤となるものです。子育て支援や高齢者福祉の充実についても、本決算を通じて力強く進められたことを評価します。少子高齢化が進む中、子供を育てやすく、高齢者が安心して暮らせるまちづくりは、私たち全員が直面する課題であり、今後も重要な課題として取組を続けていかなければなりません。

財政面においても、この決算は堅実な運営がなされていることを示していますが、私たちが目指すべきは次のステージです。未来に向けて私たちは新たな挑戦を続け、さらに大胆な施策を打ち出す必要があります。安定した財政基盤の上に、より大きな成長を目指す勇気を持たなければなりません。令和5年度の決算は、松田町の挑戦と成長を示すものです。健全な財政の上での大規模な施策ときめ細かい施策により、松田町は一步ずつ確実に前進しています。日本の人口が徐々に減少している未曾有の状況の中で、時がたてばたつほど従来の社会システムに不具合が生じ、課題が増えていくのは自明の理です。それを防ぐために、松田町の進展を止めずに、さらなる未来へと歩み続ける必要があります。この決算は、そのための確固たる基盤であり、私たちはこの基盤の上にさらに大きな松田町の未来を共に築き上げることを目指し、歩みを止めることなく前進続けることを誓い、賛成討論といたします。

議 長 討論ほかにごさいませんか。

ないようですので、この辺で討論を打ち切って御異議ごさいませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論を打ち切って採決を行います。認定第1号令和5年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、委員会報告のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立多数であります。よって、本案は委員会報告のとおり認定されました。